

SMILE通信

2025 年 5 月

市教委事業は始まらないけど、始まっています！

昨年度は延べ342校ですべてのサポートを終えました。中学校も担当不在サポートの4%を占めました。新事業の自信アップサポートも好評のうちに終了しました。

新年度がスタートして2か月、初夏を思わせる日も増えてきました。学校は活気に満ちていることでしょう。今年度は新潟市の重点事業の一つとしてこれまでのクラスサポーターを拡充して「こども・学校サポーター配置事業」が始まるそうです。Smile ういんずが委託を受け準備をしていますが、なかなか始まりません。

しかし、各学校からは次々と依頼や問合せを受け、毎日のように担当不在サポートを実施しています。特に保健室の依頼が多く、サポーターと養護教諭の先生とで綿密に打合せをしてからサポートに入っています。小学校の担当不在サポートは市教委新事業の学校サポーターに当たるので、開始が決まれば移行となります。市教委事業の時期に当たらない部分を活動資金の続く限りカバーしていくつもりですので、よろしくお願いいたします。

新 Smile ういんず4つのサポート

教育委員会 委託事業

①こどもサポーター (旧クラスサポーター)

特別な支援が必要な子どもがいる。サブティーチャーがほしい！〈小学校対象〉

②学校サポーター (旧担当不在サポート)

自習クラスや保健室の見守りをしてほしい！〈小学校対象〉

③担当不在サポート

自習クラスや保健室の見守りをしてほしい！〈特別支援学校・中学校(小学校)対象〉

④ねこの手サポート

有料

・しおり作成や校正、データ打ち込み等をしてほしい！(事務的なサポート)
・託児やピアノ伴奏などをしてほしい！(専門的なサポート)〈学校・教育団体対象〉

- 教育委員会委託事業と Smile ういんず事業で4つのサポートを行います。
- どのサポートも Smile ういんずホームページから申込みを受け付けます。
- メールでのやり取りが主になります。必ず学校代表メールをご確認ください。



テーマ型募金額 626,542円 ご協力ありがとうございました(目標額90万円)

1~3月の新潟県共同募金会のテーマ型募金に、多くの皆様からご協力いただきありがとうございました。ありがたいことにサポートに入っていない小学校や中学校からも募金をしていただきました。この募金は担当不在サポートの活動費に充てさせていただきます。

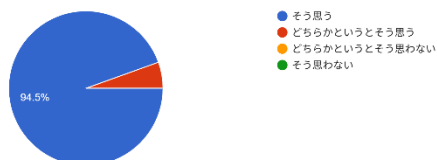
今年は昨年と比較して、残念ながら約34万円の減額でした。個人・団体の募金者数の減少もありましたが、募金していただいた学校数が昨年より21校も減りました。来年はより多くの皆様からご協力いただけるよう募金方法を工夫していきたいと思えます。昨年度のサポート数は過去最高でしたが、今年度は大きく減少することになります。ご了承ください。今後とも Smile ういんずの活動にご協力をよろしくお願いいたします。

※賛助会費での応援もお待ちしております。

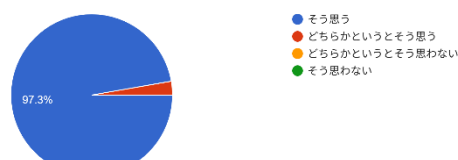
自信アップサポート（アンケートより）

「（ろうきん）働く人と子どもの明日を応援プロジェクト 2024「笑顔で進級！自信アップサポート事業」は昨年12月～2月に延べ47校151回実施しました。実施後73名の方からアンケートに協力いただきました。

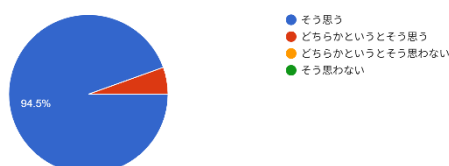
a. サポーターが支援を要する子どもに対応することで子どもたちが落ち着いて学習できた。
73件の回答



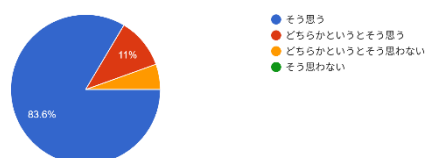
c. サポーターと教員の複数で指導することは有益だった。
73件の回答



b. サポーターが支援を要する子どもに対応することでゆとりをもって学級全体を指導することができた。
73件の回答



d. 打合せの仕方は適当だった。
73件の回答



成果 ほぼすべての担任が子どもたちが落ち着いて学習できた、ゆとりをもって学級全体を指導できた、複数で指導する良さを改めて実感していると回答している。「普段は取り組めない子がたくさん問題を解くことができ、誉められ、自己肯定感が高まる様子が見えた。」「普段はじっくり指導することができない児童へ、ゆとりをもって支援する時間を確保することができた。」「休み明けで落ち着かない曜日だったが、複数で子どもを見ることで子どもも担任も安心して学習に取り組むことができた。」など記述式の回答にも肯定的な意見が見られた。

課題 打合せについて課題が残った。「事前に打ち合わせする時間をなかなか取ることができず、配慮を必要としている児童について情報共有できているか心配だった。」などの声があった。今後は短い時間で効果的な打合せをする方法を検討していきたい。

残念ながら自信アップサポートは助成金申請が通らず、2025年度は実施できません

ちょっとうれしい話

昨年視察に来た兵庫県加古川市の元教員が、視察の内容を生かし、10名で学校のサポートを開始したそうです。全国に広がっていくとうれしいです。



ありがたいお話

昨年ある方から大量の切手の寄付をいただきました。ご実家の整理で見つかったご家族の蒐集品だそうです。郵便料金値上りの中、大変助かりました。

